

# 第15号

南部箕蚊屋広域連合



# まめ・カフェ通信

## ～第15回まめ・カフェ開催報告～

令和4年9月29日（木） 18:00～19:00

Cisco Webex Meetings を使用したオンラインと  
対面式（キナルなんぶ）のハイブリット方式

参加者 38名（参加者 32名、スタッフ 6名）

（ 医師、薬剤師、保健師、社会福祉士、介護福祉士、  
介護支援専門員、認知症地域支援推進員 ）

### 講演

## 「心不全を地域で支える」

～心不全の基礎知識と支援のポイントについて～

講師 山陰労災病院 高度治療室  
看護師・心不全療養指導士  
渡部 いづる 氏

### 《参加者の感想》

- 心不全の方の観察のポイントや対応方法について理解していたつもりだったが、情報が変わっていて色々気付かされることがありました。（浮腫の挙上対応、血圧等）以前の情報をそのままではなく、対応の仕方も変わってくることをいつも意識して情報を得ることの大切さを痛感しました。
- 心不全についての基礎知識を学ぶことができた。再入院率が高い疾患だが、地域連携パスの導入で再入院率減少しているため、活用を促していきたい。
- 薬局では、一人の患者さんとじっくり病態について話す時間がないので、血圧のチェックと体調を何う程度で終わってしまいますが、体重の変動、食事の内容、運動の状況などなら薬局でもチェックできるので、今後は服薬指導だけでなく、そのあたりについてのアドバイスもしていきたいと思います。



終了後も熱心に講師に質問されていました。

### まめ・カフェとは??

医療や介護、地域に関わる私たちの仕事ってまめでなければつとまらない。

「まめなかや?（元気ですか）」と、こまめな声かけが関係づくりの第一歩!…多職種が気軽に集ってまめに話せる場所が欲しい☆という声からできたのが、まめ・カフェです♪

第15回のまめ・カフェは、講師に山陰労災病院 高度治療室の看護師・心不全療養指導士 渡部いづるさんをお招きして、心不全の基礎知識と支援のポイントについてお話をいただきました。

心不全の定義や症状、症例を用いた具体的な指導の方法など、資料や動画をもとに分かりやすく説明してくださり、参加者の皆さんも学びが多かったと思います。

今や「がんより多い心不全」と言われています。心不全の方を地域で支えるためには、多職種の連携が重要です。心不全の悪化がないよう、地域全体でサポートしていきましょう!



会場内での様子

❖ アンケート結果の一部をご紹介します。

ご協力ありがとうございました。次回も、皆さまのご参加をお待ちしております!